



平成26年度

第7回 みみらんどセミナー

「日本語を学ぼう」～正しい文章で表現できるようになるために～

☆ 実施日時 ☆ 平成26年11月19日(水) 13:00～14:30

☆ テーマ ☆ 「日本語を学ぼう」～正しい文章で表現できるようになるために～

☆ 講師 ☆ 福島県総合療育センター 言語聴覚士 原田 綾 先生

日本語を構成する「語彙」「構文」「談話」の3要素、日本語のモデル作りについてお話をいただきました。

訓練場面のVTRや、家庭・学校でできる活動例を交えた内容だったので大変分かりやすく、参加者からは「すぐに実践したい」との感想が出されました。



～日本語を構成する3要素～

「語彙」(単語)

難聴児は小耳にはさむことが難しいので、「意図的に」「繰り返して」ことばを聴き、使いましょう。

「構文」(授受構文など)

構文発達には順番があります。難聴児は、正語順を5歳で獲得後、逆語順・授受構文・関係節文・受身文をやっと9歳以上で獲得します。特に就学前(学習言語へ移行する前)に、家庭で意図的に使いましょう。

「談話」

文と文の「つながり」「順番」を意識して「伝えたい主題」を表す方法です。「それから」「結局」などの目印言葉も入れて会話をしましょう。



助詞は文字・色・形のヒントをつけて存在を明らかにしたら、次の目標へ応用してみましよう。

～日本語のモデルを作ろう～

「ことばかけのポイント」

「文章」の中で、「子どもの目線(関心)」に沿った内容で話しかけましょう。絵本も文のモデルになります。

「あげる」「もらう」「くれる」

- ママがぼくにくれる。
 - ぼくがママにもらう。
 - ×ママがぼくにあげる。
- 楽しい経験で広げましょう。

「文章で表現しよう」

<活動例>

- 手紙を書く • 日記を書く
 - 4コマ漫画の説明をする
 - 正しい文章を復唱する
 - ミニチュアや写真を使う
- 生活の中に、「聴く」「表現する」を意識的に組み込みましょう。